

「主体的・対話的で深い学びをめざす授業づくり」

情報科は大事な教科として設置

情報教育の目標としての「情報活用能力」の育成

臨時教育審議会(昭和60年9月～62年12月)において、情報及び情報手段を主体的に選択し活用していくための個人の基礎的資質(「情報活用能力」)を読み、書き、算盤に基く基礎・基本と位置付けた。

情報活用能力は、小・中・高等学校の各教科等を通じて育成させるもの。

3観点(情報活用の実践力、情報の科学的な理解、情報社会に参画する態度) 相互に関連を認めながらバランスよく指導することが重要。

A 情報活用の実践力

課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力

- 課題や目的に応じた情報手段の適切な活用
- 必要な情報の主体的な収集・判断・表現・処理・創造
- 受け手の状況などを踏まえた発信・伝達

B 情報の科学的な理解

情報活用基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

- 情報活用基礎となる情報手段の特性の理解
- 情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善するための基礎的な理論や方法の理解

C 情報社会に参画する態度

社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

- 社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響の理解
- 情報モラルの必要性や情報に対する責任
- 望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度



金沢星稜大学 人間科学部こども学科

教授 佐藤 幸江 氏

簡単自己紹介

- 金沢星稜大学
- 人間科学部こども学科

専門:

初等教育

教科教育法
(算数)

情報教育

★平成26年度文部科学省「先進的な教育体制構築事業」

★高橋市、福前市ICT活用事業支援、大和市プログラミング教育部会事業支援

★校内研究の助成や公開研究会等での講演

★金沢市の情報モラル講座

こどもたちや学生の学びと

先生方の実践のサポートをライフワークに！

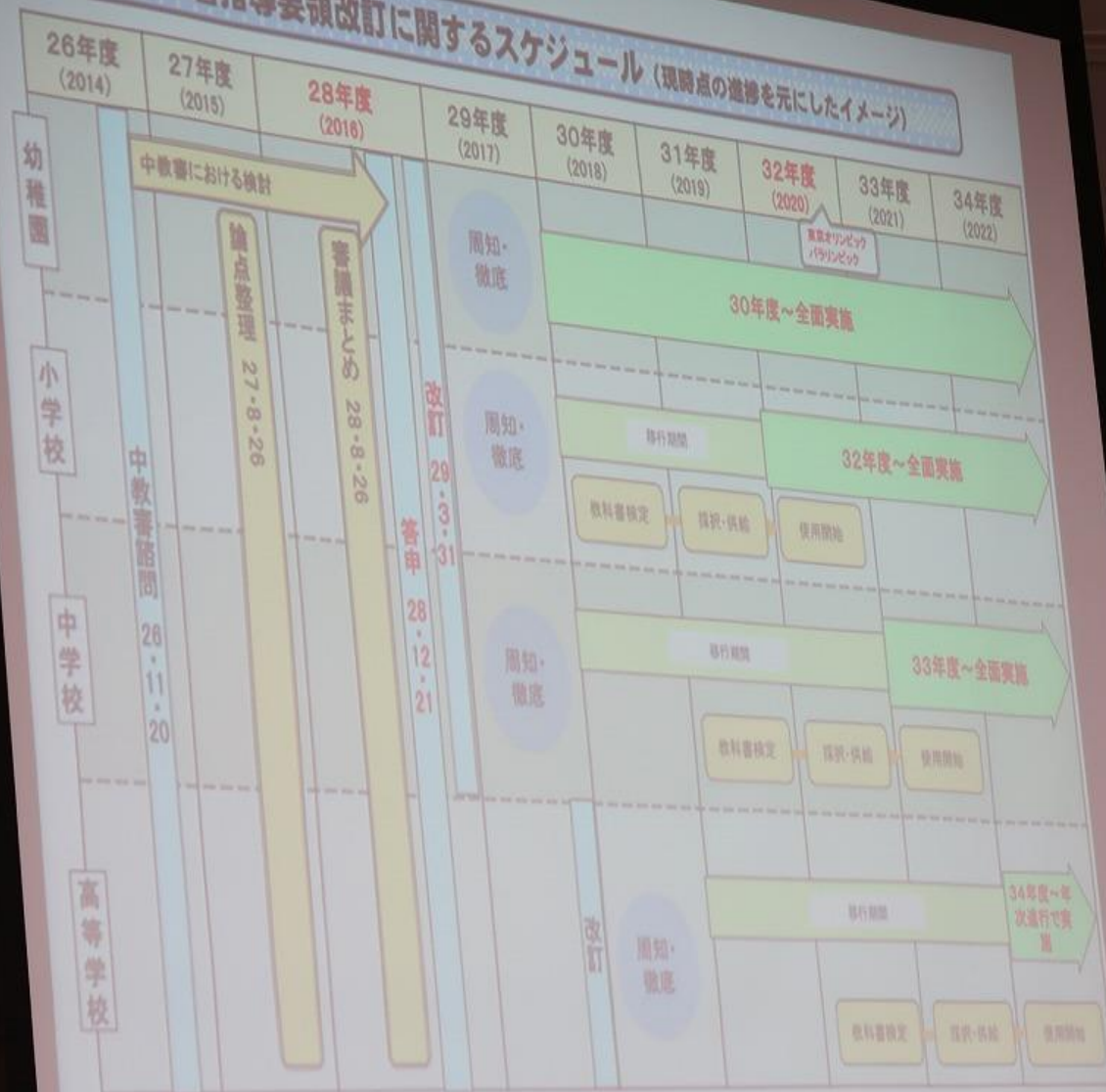
金沢星稜大学人間科学部 教授 名瀬幸江

〒920-8620 金沢市鶴子町10番地1

電話：076-253-5914



今後の学習指導要領改訂に関するスケジュール (現時点の進捗を元にしたイメージ)



特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。
 特別支援学校学習指導要領(高等部)についても、高等学校学習指導要領と一体的に改訂を進める。

プログラミング的思考とは

自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組合せが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組合せをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていく力。

(文部科学省(2016) 小学校段階におけるプログラミング教育の在り方について

「議論の取りまとめ」より)